

保 存 期 間 3 年

人 少 発 第 8 3 号

生 総 発 第 1 2 7 号

令和 6 年 2 月 16 日

各 警 察 署 長 殿

人身安全少年課長

非行防止教室等の受付及び開催結果報告等について

見出しの件については、非行防止教室等の受付要領及び開催結果報告等について（令和 2 年 12 月 15 日 付け 少 発 第 10330 号。以下「旧通達」という。）に基づき実施しているところですが、この度、報告要領等を見直し、下記により実施することとしたので、誤りのないように願います。

なお、旧通達は、令和 6 年 2 月 16 日 限り、廃止します。

記

1 非行防止教室等の受付等

- (1) 学校等から非行防止教室等の開催要請があったときは、日程を調整の上、非行防止教室等申込書（別記様式第 1 号）により、随時受け付け、開催すること。
- (2) 体験型薬物乱用防止教室については、茨城県警察少年サポートセンター（以下「サポートセンター」という。）において日程を調整の上、開催することから、体験型薬物乱用防止教室申込書（別記様式 2 号）による申込方法及びサポートセンターの連絡先を教示すること。

2 開催結果の報告

警察署において開催した非行防止教室等の結果報告については、生活安全総務課への報告となっている学校における防犯教室・防犯訓練及び学校への不審者侵入事案対応訓練実施結果報告とともに、非行防止教室等開催結果（別記様式 3 号）により翌月 3 日まで（休日又は祭日の場合はその翌日まで）にサポートセンターの所属

間収受フォルダへ報告すること。

なお、この件については、生活安全総務課と協議済みである。

本件に関する問い合わせ

生活安全部人身安全少年課

少年サポートセンター

(警電753-322、325)

非行防止教室等申込書

警察署長 殿		年 月 日	
申込者 住所		氏名	
下記のとおり、非行防止教室等を申込みます。			
日 時	年 月 日 () 午前・午後 時 分から 午前・午後 時 分までの間		
場 所	所在地 名 称 連絡先 (担当者名) 電話番号 FAX		
希 望 内 容	※希望する内容に ☒ を付けてください(複数選択可)。 ☐ 薬物乱用防止教室 ☐ 非行防止教室(インターネットの危険性) ☐ 規範意識の醸成に関する教室 ☐ 各種通信会社との教室		
参 加 人 数	☐ 小学生 全校・ 年生 人 ☐ 中学生 全校・ 年生 人 ☐ 高校生 全校・ 年生 人 ☐ その他学生() 人 ☐ 教育関係者 人 ☐ 保護者 人 ☐ その他() 人 合計		
準 備 物	① プロジェクター ☐ 有 ☐ 無 ② スクリーン ☐ 有 ☐ 無 ③ DVDプレーヤー ☐ 有 ☐ 無		
備 考	※ 連絡事項があれば記載願います。		

別記様式2号

体験型薬物乱用防止教室申込書

茨城県警察本部 生活安全部人身安全少年課長 殿		年 月 日
申込者 住所		氏名
下記のとおり、体験型薬物乱用防止教室を申込みます。		
日 時	年 月 日 () 午前・午後 時 分から 午前・午後 時 分までの間	
場 所	所在地 名 称 連絡先 (担当者名) 電話番号 FAX Email	
	☐ 小学生 全校・ 年生 人 ☐ 教育関係者 人 ☐ 保護者 人 ☐ その他() 人 合計 人	
準 備 物	① プロジェクター ☐ 有 ☐ 無 ② スクリーン ☐ 有 ☐ 無 ③ DVDプレーヤー ☐ 有 ☐ 無	
備 考	※ 連絡事項があれば記載願います。	

非行防止教室等開催結果 (月分)

警 察 署 名	
担 当 者 名	
警 電	

1 非行防止教室等開催結果

No.	開催日	学 校 名	参 加 人 数			内 容
			区分	学年	人数	
			小学生	年	人	薬物乱用防止教室
			中学生	年	人	非行防止教室
			高校生	年	人	規範意識の醸成
			保 護 者		人	各種通信会社との教室
			教 職 員		人	ドコモ
			そ の 他		人	ソフトバンク
			小学生	年	人	薬物乱用防止教室
			中学生	年	人	非行防止教室
			高校生	年	人	規範意識の醸成
			保 護 者		人	各種通信会社との教室
			教 職 員		人	ドコモ
			そ の 他		人	ソフトバンク
			小学生	年	人	薬物乱用防止教室
			中学生	年	人	非行防止教室
			高校生	年	人	規範意識の醸成
			保 護 者		人	各種通信会社との教室
			教 職 員		人	ドコモ
			そ の 他		人	ソフトバンク
			小学生	年	人	薬物乱用防止教室
			中学生	年	人	非行防止教室
			高校生	年	人	規範意識の醸成
			保 護 者		人	各種通信会社との教室
			教 職 員		人	ドコモ
			そ の 他		人	ソフトバンク

※【非行防止教室等開催結果】

- ・各種通信会社との教室の報告にあつては、ドコモかソフトバンクを選択すること。
- ・枠が足りない場合は、適宜枠を増やして報告すること。

2 学校における防犯教室・防犯訓練

	実施回数	対象児童・生徒数
幼稚園・保育園	回	人
小学校	回	人
中学校	回	人
その他の学校	回	人

※【学校における防犯教室・防犯訓練】

児童・生徒等を対象とした、各種犯罪の被害防止、不審者遭遇時の対応(イカのおすし、110番の家、20メートル理論等)に関する講話、実技訓練をいう。

3 学校等への侵入事案を想定した教職員の対応訓練

実施回数: _____ 回

※【学校等への侵入事案を想定した教職員の対応訓練】

学校敷地内、校舎内に不審者が侵入した際の、教職員を対象とした声掛け、刺股操法、110番通報、児童・生徒の避難誘導等に関する訓練をいう。